

# 技術支援の分類

凡例：◆受援側、◇支援側

手法	主体	対応方策(案)	期待される効果 (メリット)	解決すべき課題等 (デメリット)
連携	公	○技術職員の交流 ○共同研修(訓練)の実施 ○勉強会(研究会)の実施 ○災害時相互応援の実施	◇◆技術の継承 ◇◆技術力の相互補完 ◇◆災害対応能力の向上	◇◆市町間の調整が必要
派遣	公	○調査チームの派遣 ○講師(指導者)の派遣 ○技術者の派遣 ○ベテラン職員の派遣 ○アドバイザーの派遣	◆技術力の向上 ◆外部からの技術の継承 ◇経験機会の確保が可能	◇継続には専門組織が必要 ◇OB等派遣人材の確保が必要 ◇業務負担の増加 ◇◆費用負担の調整が必要
	公民		◆技術力の向上 ◆外部からの技術の継承 ◇派遣人材の確保が容易	◇民間への費用負担が必要 ◇業務負担の増加 ◇◆情報漏洩対策が必要 ◇責任分担の調整が必要
委託	公	○個別の業務委託 ○浄水場の第三者委託	◆業務上で公的判断が容易 ◇経験機会の確保が可能	◆経験機会が減少 ◇専門組織が必要 ◇比較的にコストが高い
	公民	○個別の業務委託 ○浄水場の第三者委託	◆コスト削減が可能 ◇経験機会の確保が可能 ◇実績機会の確保が可能	◆経験機会が減少 ◇専門組織が必要 ◇責任分担の調整が必要
	民	○個別の業務委託 ○第三者委託 ○上下分離方式による委託 ○DB、PFIによる委託	◆コスト削減が可能 ◆人材確保が可能 ◇実績機会の確保が可能	◆責任の明確化が必要 ◇ある程度の発注規模が必要 ◇◆情報漏洩対策が必要

## (参考) 技術支援の事例

手法	主体	事例	内 容	
連携	公	兵庫県水道災害 相互応援協定	県内全水道事業 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材情報の共有化</li> <li>・訓練の共同実施</li> </ul>
派遣	公	奈良県 (簡易水道エリア)	県営水道 保健所 水質検査センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易水道へ支援活動 (業務補助、助言など)</li> </ul>
委託	公	横浜ウォーター(株)	横浜市水道局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー、運営支援など</li> </ul>
		(株)大阪水道総合サービス	大阪市水道局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転管理、維持管理、設計施工、営業など</li> </ul>
	公民	(株)水みらい広島	企業局 水ing(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転管理、検針、料金徴収業務など</li> </ul>
	民	箱根水道パートナーズ(株)	JFEエンジニアリング(株) 管工事組合 (株)ジェネッツ 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理、運営、施設関連、危機管理など</li> </ul>